

村嶋寿深子芸術監督に聞く

長崎OMURA室内合奏団 (NOCE) 5月定期演奏会の聴きどころ



今年はモーツァルトを楽しんで、堪能してください!

—— 今回の定期演奏会の内容はについて教えてください。

12月の定期演奏会にも関連してのですが、今年是一年を通してモーツァルトを聴いていただきましょうということで、5月のプログラムは、最初に松原勝也さんが

編曲したバッハのオルガン曲であるプレリュードとフーガを弦楽合奏でお届けします。それから世界的ヴァイオリニストの堀米ゆず子さんをお迎えして、モーツァルトのヴァイオリン協奏曲第3番を弾いていただきます。3曲目は冒頭のメロディが有名なモーツァルトの晩年の作である交響曲第40番を演奏します。一年を通してNOCEとゲストのすばらしい演奏でモーツァルトを楽しんで、堪能してください。

世界的ヴァイオリニストの堀米ゆず子さんを迎えて

—— 村嶋監督と堀米ゆず子さんとは長いお付き合いだそうですね。

私と堀米さんとは40年来のお付き合いです。彼女は1980年に日本人初のエリザベト王妃国際音楽コンクールの優勝者です。テレビを通してダイナミックですばらしい演奏だったということを鮮明に記憶しています。

最初の出会いは、1987年に私がカザルスホールで仕事を始めたときに、カザルスホールカルテットが結成され、そのバイオリニストが堀米さんだったことです。彼女のブリュッセルの家にも伺ったことがあります。シーハットおおむらができる前に大村市民会館でカザルスホールカルテットのコンサートを開いていただいたこともありますし、一昨年の2月にはシーハットおおむらのさくらホールでコンサートを開いていただきました。

今回は開演直後の演奏前にプレトークを私と堀米さんで行う予定です。彼女は快く承知してくださりましたので、ざっくばらんに話しますつもりです。



堀米さんは年齢とともに、奏法自体も少し変わり、大人の成熟した演奏になったように感じます。モーツァルトの曲の明るいところだけではなく暗闇部分をどう表現してくださるか、今から楽しみです。

今号で節目の50号の発行になりました!

—— 今後の活動について教えてください。

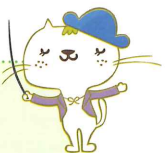
昨年結成15周年を迎え、今年パトネージュ通信が節目の50号を発行できることは、それだけ長くお客様がNOCEを支えてくださったのかなと思います。ありがたいですね。

5月には長崎県内を回る学校コンサートがあります。今年は佐世保方面を中心に中学校や高校を訪問し演奏します。また、5月11日には郡コミュニティセンターで「母の日コンサート」を行う予定です。

—— 最後に一言お願いします。

今年をもっとNOCEを県内で周知していただきたいですし、長崎県を代表するオケとして、県内の活動を充実させたいですね。みなさんが「ああNOCEは長崎県を代表する合奏団だ」と思ってくださいるように努力したいと思います。

—— ありがとうございました。



5月定演公開リハーサル

5月16日 (木) ・11時~13時15分 (開場10時30分)

シーハットおおむら・さくらホール

入場無料 ※未就学児童は入場できません

モーツァルト3大交響曲の一つ第40番の音楽づくりの過程をたっぷりとお楽しみいただけます。

ロビーコンサート&プレトーク (長崎・大村定演)

- ・開場後ロビーコンサート「木管四重奏」を行います。
- ・開演後村嶋寿深子芸術監督と堀米ゆず子さんによるプレトークを行います。

団員との茶話会 (大村定演)

- ・5月18日 (土) 終演後・花しょうぶ
- ・参加料 500円

Envoid'un message

長崎OMURA室内合奏団との共演に寄せて

先回りサイトルでお邪魔した素晴らしい大村シーハットホールで今回は合奏団と共演をします。

今から楽しみです。

村嶋さんとはもう40年近いお付き合いをさせていただいております。エリザベトコンクール直後の「オーケストラがやってきた」の時代。また今井信子さん、アントニオ・メネセスさん、トーマス・ツェットマイヤーさんとのカザルスカルテット時代、密度の濃い時間を過ごしました。

そして彼女が故郷に戻り昨年またここで再会しました！ ホール、お客様のすばらしさに心躍った演奏会を企画して下さった彼女です。

モーツァルトのコンチェルトは自然で自由に素晴らしい・・・しかし突然闇をのぞき込むような悲しさ、怖さも秘めています。いつ弾いても難しい。

一期一会の音の饗宴です。
どうぞお楽しみに！

堀米 ゆず子
2019年2月ブリュッセルにて



堀米ゆず子 (ほりごめゆずこ・ヴァイオリン)

5歳からヴァイオリンを久保田良作氏のもとで始め、1975年より江藤俊哉氏に師事。1980年桐朋学園大学卒業。同年エリザベト王妃国際音楽コンクールで日本人初の優勝を飾る。以来ベルリン・フィル、ロンドン響、シカゴ響、クラウディオ・アバド、小澤征爾、サイモン・ラトルなど世界一流のオーケストラ、指揮者との共演を重ねている。世界中の音楽祭に数多く招かれ、その中にはアメリカのマールボロ音楽祭、クレーメル主宰するロックンハウス音楽祭、ルガーノアルゲリッチ音楽祭(スイス)、フランダース音楽祭(ベルギー)などがある。室内楽にも熱心に取り組んでおり、これまでにルドルフ・ゼルキン、アルゲリッチ、ルイサダ、クレーメル、マイスキー、今井信子、メネセス、ナイディックなどと共演している。2013年からイタリアのカメラータピチュナに於いて、2014年からはイギリスのケンブリッジに於いてマスタークラスを2017年まで開催した。2018年からはフランスのエクサンプロヴァンスでマスタークラスを開催している。

モーツァルト交響曲第40番と第41番

～5月定演と12月定演で続けて聴く至福の時間～



ながしま たくお
長嶋 拓生(ヴァイオラ)

ト短調はヴァイオリン最低弦の何も押えない解放弦の音を主音とし、他二本の解放弦も音階に含まれるため楽器が鳴りやすい調です。他の弦楽器にとっても同様です。モーツァルトが残した交響曲全41曲中短調は2曲のみ。そのどちらもト短調です。

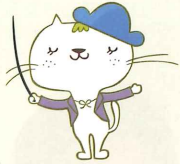
「ギリシャ風なたゆたうごとき優美さ」、「疾走する悲しみ」、「デモーニッシュ」と評される40番は、「ため息のモ

チーフ」の第1楽章、第2、3楽章はリズムに工夫が、そしてb4つから#4つまで幅広く転調する展開部を持つ第4楽章と続きます。

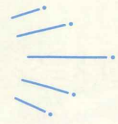
「モーツァルトの創造に奇跡があるとすれば、この協奏曲の成立こそそれである」と評されたヴァイオリン協奏曲第3番も弦楽器がよく響くト長調。堀米ゆず子さんの銘器グアルネリデルジェスはホールをどのように包むのか？

とある指揮者はモーツァルトについて「彼の音楽は人生終焉の至福に似ている」と語っています。40番と対をなす41番を聴いてこそその至福が感じられるはずです。





Look back upon NOCE



～2019年1月から3月の演奏活動を振り返って～

3月17日(日) (長崎バプテスト教会) 室内楽シリーズvol.11



室内楽シリーズvol.11を振り返って



かめこ まさたか
亀子 政孝(コントラバス)

去る3月17日に、長崎バプテスト教会において、室内楽シリーズvol.11を開催しました。このコンサートは演奏者の更なるスキルアップと、室内楽の魅力を長崎の方に伝えることを目的として、年二回開催しているものです。室内楽シリーズは団員有志で行うため、会場の予約やチケット販売、プログラムへの広告協賛のお願い、当日の受付まで自分達でやっています。

コントラバスは室内楽を演奏する機会が少ないので、それだったら自分で企画しようと思い、スタートしたこのシリーズ。今年で6年目になりますが、よくここまで続いたものだ、と、我ながら感心します。

皆さんなかなか室内楽を聴く機会はないかと思いますが、演奏前に曲の事を演奏者自らが話しをするなど、聴衆と近い距離で色々工夫しながら行っています。ぜひ一度足を運んでいただけたらと思います。

まちかどGALAコンサートレポート

ながとめ ゆか
永留結花(フルート)



3月23日、プラザおおむらにて「まちかどGALAコンサート」を開催しました。

この公演はNOCEが1ヶ月に1度市内各所で行ってきた、いわゆる「出前コンサート」の集大成ともいえる公演です。

今回は「見て・聴いて楽しむコンサート」がコンセプト。

コンサートマスターを軸に、指揮者のないオーケストラだからこそできる演奏家同士の音の会話を感じてもらったり、実際に曲中でクラリネットを分解しながら演奏する「だんだん小さく」など、小編成かつ小規模ホールならではの音楽をご来場の皆様と共有できたりしたのではないかな、と思っています。

これからも、おらがまちのオーケストラの可能性を信じて楽しい公演を沢山開催して参ります。どうぞお楽しみに♪

3月23日(土) (プラザおおむら) まちかどGALAコンサート



1月25日(金) (長崎インターナショナルホテル)

新春の集いパーティ



160名あまりの皆様にご来場いただき、盛況でした。おいしい料理と素敵な演奏をたっぷりとお楽しみいただきました。ゲストの内夏美さん(ソプラノ)の情感溢れる歌唱も花を添えました。2020年も2月14日に開催予定です。お楽しみに。

3月9日(土) (大浦小学校)

大浦小学校 スプリング・コンサート



昨年のミュージカルの稽古場でお世話になった長崎市立大浦小学校体育館でスプリング・コンサートを開催しました。PTAの皆様のご協力で300人余りの地域のお客様にご来場いただきました。アンコールではミュージカル出演者に飛び入りで「赤い花」を歌っていただきました。

3月12日(火) (長崎市中央公民館)

長崎市中央公民館講座 音楽虎の巻



弦楽五重奏による音楽講座「音楽虎の巻」を開催。受講された皆さんは、笑いも混じえた楽しい講座を2時間たっぷり楽しみました。NOCEの長崎ファンが増殖中です。

♪ 音楽と私

小学生の頃ピアノを習っていましたが、練習が嫌で嫌で上達しませんでした。母に「やめたい」と何度も訴えましたが、その時にいつも言われたのが「お前の伯父さん(母の兄です)は小さい頃ピアノ習ってたけどやめてしまい、大人になってから凄く後悔してた。きっとお前も今やめたら後悔する」という話。そう言われて何年かは続けましたが、結局やめてしまいました。

でも、中学の終わりからギターを弾くようになり、さらに高校でジャズに目覚めてサックスを吹くようになってからは、音楽にどっぷりの生活になりました。今でもジャズサックスは続けていて、一昨年長崎に転勤で来てからも地元のミュージシャンたちとセッションを繰り返しています。(初対面の人とでもすぐセッション出来るのはジャズのいいところですね。)

音感や音楽理論などの面で「ピアノを続けていたら良かったかな」と思うことはありますが、無理に続けていたら音楽のこと嫌いになってたんじゃないかという気もしますし、やめたからこそ他の楽器や他の音楽と出会えたようにも思います。母は今でも「あの時ピアノをやめなければよかったのに」と言うのですが、私はむしろ音楽を嫌いになる前にやめさせてくれたことを感謝しています。おかげで、今でも音楽を人生の友にできているわけですから。



えんどう りし 遠藤 理史 (NHK長崎放送局長)

Mi Chiamo

ミ・キアモ

3つの質問でメンバーを知ろう!

※ミ・キアモとは、イタリア語で「私の名前は、○○○」の意。

- ① 自己紹介をご自由にどうぞ!
- ② ひそかなマイブーム
- ③ 最後一言



ヴィオラ
いけだ ふみこ
池田 文子

- ① 食べるの大好き、運動嫌い、痩せる訳ない、血液型 B 型、獅子座です。
- ② 少しだけ短歌にはまっています。「ソ、レ、ラ、ミと弦をはじいて ああいずれ死ぬのであれば ちゃんと生きたい」もう、ブームは終わりました。
- ③ 合奏団の(数少ない) 諸先輩方を手本とし、これからも多めに飲み、食べ、そして音楽を楽しんでいきます。



チェロ
ながの さゆり
永野 紗佑里

- ① 今年から入団させて頂いたのが楽しみです、チェロの永野紗佑里です。宮崎県出身、高校、大学を東京で過ごし、現在は福岡を中心に演奏活動をしています。
- ② 蜂蜜の色々な使い方。(食べたり、飲んだり、顔に塗ったり...)
- ③ これから、団員として活動していくのを楽しみにしています! 皆さまどうぞ宜しくお願い致します。

ご支援ありがとうございます (3月31日 現在) 法人会員数 62名 (-7名) NPOは、会員皆様の会費が主な収入源です。個人会員数 183名 (-19名) 周りの方で、興味のある方がいたら、ぜひお誘い下さい。

編集後記

新年度、春のポカポカ陽気ですね。花粉症の方は辛そう...新元号で迎える来月の定期演奏会は、堀米ゆずりさんとの初共演!とても楽しみです♪ (ちほ)

コンサートをさせて頂くと、その度にいろんな方からお力をいただいていることを改めて感じます。新年度も感謝の気持ちを忘れず、私らしく前に進みたいです! (いけっち)

今号は節目の50号、「音楽と私」は30回目。「継続は芸術力なり」を感じる今日この頃です。いつも編集で全力応援! (オカナリヨ)